

月刊 あなたにこの **本** を！ 平成 19 年 **11** 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



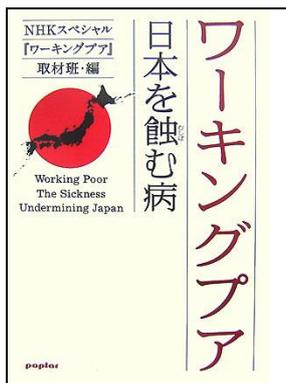
吉本興業の正体

増田晶文 著

草思社 1995 円 (0011402172)

ジャンル：大阪にゆかりの本

1912 年、一軒の弱小寄席の買収から始まり、今や日本お笑い界随一のプロダクションとなった吉本興業。その激動の歴史や、時代の先端を行く現在について詳しく描かれる。社内では芸人とマネージャーがひとまとまりの「個人商店」となって互いに競い合っており、通常の組織論には当てはまらない、世界的にもめずらしい企業だと著者は指摘する。吉本幹部や芸人たちへの精力的な取材を重ね、「ケツタイな会社」の本質にせまる意欲作。〔770.6〕



ワーキングプア ー日本を蝕む病ー

NHKスペシャル

『ワーキングプア』取材班 編

ポプラ社 1260 円 (0011440507)

ジャンル：現代社会を見つめる

ワーキングプアとは、どんなに必死に働いても抜け出せない「貧困」である。日雇い労働の仕事しかなく、明日の食事にさえ困る若者、アルミ缶を拾って命をつなぐ老人、子どものために深夜まで働き続ける母親……。きっかけは家族の病気や、リストラ、国の政策転換など、誰の身にもふりかかるような出来事だった。本書は現代日本で進行するこの病を克明に伝える。同じ社会に生きる全ての人に向けて発せられた警告の書。〔316.35〕



みんなが知りたい水族館の疑問50

ーイルカは楽しんでショーをしているか？ 水槽が割れることはないのかー

中村 元 著

ソフトバンククリエイティブ

999 円 (0011460507)

ジャンル：暮らしにうるおいを

「水槽に入れる魚はどうやって決めているの？」「入館料ちょっと高くない？」こうした疑問の数々に、水槽展示など水族館の演出を手がける著者が、豊富な事例をもとにわかりやすく解説する。素朴な疑問を切り口に、観覧者をひきつける展示の工夫から、水族館が人や地域社会に果たす役割についてまで深く言及する。子どもも大人も魅了する水族館の秘密の仕掛けとは何か。確かめるため、思わず足を運びたくなってくる。〔480.7〕

金・銀・銅の日本史

村上 隆 著

岩波書店 819円 (0011464978)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

本書では、金・銀・銅などの金属を扱う技術がいかに発達したのか、その過程を草創期から再生期へと独自の時代区分を設け、段階を追って解説している。著者は材料科学の手法を用いて、飛鳥池遺跡の工房跡の遺物を調査する。その結果、純度の高い金属をつくり出す高度な技術が七世紀当時すでに行われていたことなど、日本の技術力の特長が明らかになった。古代より、「モノづくり」に携わってきた職工たちの技術水準の高さに圧倒される。〔210.04〕

街場の中国論

内田樹 著

ミシマ社 1680円 (0011438930)

ジャンル：現代社会を見つめる

日本人であることをいったん忘れて、他国の人の立場にたつてその国のことを考えるとどうなるか。フランス現代思想が専門の著者が「街場のふつうの人だったら知っていそうな」一般知識に基づき現代中国を読み解く。大学院の講義をもとにまとめたもので、反日運動や教科書問題など10項目について、専門外であるが故の独自の視点で鮮やかに論じる。自国以外の国のことを論理的に考察するコツを学ぶことができ、著者の軽妙な論理の積み重ねが面白い。〔302.2〕

ユビキタスとは何か ー情報・技術・人間ー

坂村健 著

岩波書店 735円 (0011464973)

ジャンル：現代社会を見つめる

ユビキタスとはどこにでもあるという意味。著者は身の回りのものに小さなコンピュータを組み込んで、世界をネットワーク化することを研究している。点字ブロック等に組み込んだ電子タグから、携帯機器に情報を伝える「自立移動支援プロジェクト」など、誰もが暮らしやすい社会を目指す試みについて述べられている。どこにいても、いつでも、どんなものからでもネットワークにつながるユビキタス社会の可能性をわかりやすく解説する。〔549.8〕

郵便局を訪ねて1万局 ー東へ西へ「郵ちゃん」が行くー



佐滝剛弘 著

光文社 882円 (0011441425)

ジャンル：暮らしにうるおいを

各土地の名所旧跡などをかたどった消印、風景印。本書はその消印に魅了された「郵ちゃん」と自称する著者が、押印のために日本全国の郵便局をめぐる旅の記録だ。著者は自分の足で風景印を集めることにこだわり、「巡礼」の旅を30年余り続けてきた。その旅の中、肌で感じた日本各地の変貌(ぼう)ぶりについても語られる。また収集した印も掲載しており、「坊っちゃん」にちなんだマドンナ消印など多種多様なコレクションは見ているだけでも楽しい。〔693〕

京都南座物語

宮辻政夫 著

毎日新聞社 1890円 (0011451786)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

四百年近く前から存在する日本最古の劇場、京都南座の歴史を描く。本書では江戸時代の上歌舞伎の役者たち、初代坂田藤十郎や初代片岡仁左衛門らが、数々の資料をもとに人間味あふれる姿でつづられる。売れない時代、ライバルとのぎを削る場面、老いて舞台を去る瞬間など、舞台には過去の役者の人生がぎざまれている。さらに、現代に生きる各界の人々のコラムもあり、過去と現在の南座が描かれていて興味深い。毎日新聞連載記事に加筆。〔774.2〕